

8-4-4 道路専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 道路専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（4月～1月）

(2) 対外活動

a) RCCM 登録更新教材の更新

「道路」及び「トンネル」について改訂作業を行い、これに伴いナレーションの変更対応も行った。

b) 視察「熊本地震の被災・復旧状況」

平成28年12月9日（金）～10日（土）に、熊本地震における被災・復旧状況を知り、道路計画のあり方を考えることを目的に視察を実施した。参加者12名。

c) WG 活動

当委員会では、主に以下の4WGを設置して活動したので、各WGの活動記録について記述する。

①設計システム WG

委員会社の若手技術者が集まり、「性能照査型道路計画・設計」を深化し、複数ODにおける計画をテーマとして研究活動を行った。

②品質向上 WG

過年度から継続し、設計ミス防止、品質向上を目指した「品質セミナー」の実施に向けてのエラーの事例集収集、作成及びセミナー講師として参画した。

③勉強会 WG

平成28年12月2日、『ラウンドアバウトの持つ機能と価値』（まちづくりにおけるラウンドアバウトの関わり）に関する講習会を開催した。

- ・有識者講師によるラウンドアバウトの機能と価値【日本大学理工学部教授下川澄雄氏】
- ・自治体講師によるラウンドアバウト事例紹介およびまちづくりの視点等現場の声【静岡県交通基盤部道路局道路企画課主査杉本昌彦氏】【長野県飯田市建設部地域計画課係

長勝岡雅典氏】

④対外活動 WG

NEXCO 総研と、設計歩掛りの意見交換を行った。また、首都高速道路(株)と歩掛、仕様書、大規模更新等について意見交換を行った。

d) 静岡県トンネル技術講習講師

静岡県職員を対象として、トンネル技術に関する技術講習の講師を担った。

・平成28年11月9日

・静岡県職員 15名

e) 関連団体との協同研究等

道路技術発展に寄与することを目的として、交通工学研究会との共催で協同研究活動をした。

・階層型道路ネットワークミニシンポジウム

・ラウンドアバウトマニュアルの執筆・講習会活動

f) CIM・i-Construction への取り組み

国交省、及び国土地理院の活動に参加した。

・CIM 導入ガイドライン策定 WG(道路土工、トンネル)

・公共測量課題検討委員会

2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施するとともに道路、トンネルを取り巻く課題に取り組む。

(道路専門委員会委員長 土井 和広)